

■香南市公共施設等の適正配置に関する方針等説明会について（報告書）

1. 実施目的

合併により5町村が一つになった香南市は、多くの公共施設を保有し、類似した施設も多い状況にあり、その多くが老朽化に伴い改修や建替えの時期を迎えている。一方で、人口減少、少子高齢化の進行から20年後には本市の人口は2万6千人になると予測されており、財政状況も見据えて効果的、効率的な施設整備と管理運営のための方策が必要となっている。これからの公共施設等のあり方を市民と一緒に考え、より良い方向性を見出すため、令和5年度に「香南市公共施設等の適正配置に関する方針」を策定した。

そこで、方針内容等について市民への説明を行い、公共施設に係る現状とその適正管理に向けた今後の取り組みについて市民と共有すること、また、意見を聴くことを目的とした。

2. 実施日時

開催日	時間	会場	参加者 (延べ人数)
令和6年4月22日（月）	19:00	夜須公民館（2階大研修室）	25
令和6年4月23日（火）		のいちふれあいセンター（2階研修室）	14
令和6年4月24日（水）		吉川防災コミュニティセンター（2階ホール）	15
令和6年4月25日（木）	20:30	赤岡市民館（1階ホール）	30
令和6年4月26日（金）		香我美市民館（1階ホール）	12
			96

3. 実施内容 * (1)、(2) 説明：契約管財課

(1) 「公共施設等の適正配置に関する方針」について 〈配布資料／①「方針」、②「概要版」、③二軸評価の施設一覧（旧町村別）〉

(2) 今後の進め方について

* 資料③は、夜須説明会場で住民より要望があり赤岡説明会から配布。

4. 質疑、回答の概要

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
1	夜須	夜須の保育所、幼稚園、児童クラブ、大峰の里等はC判定となっている。農業の雇用問題について、外国人を雇用する場合は住む所が難しく、地域の理解も必要。建物の状態はわからないが、周囲に住宅の少ない夜須保育所を集合住宅や共同の場に変えることはできないか。Cの建物は民間企業に売却や貸出とあるが、個人で借りられるなら借りたい。一般個人への譲渡等は考えているか。	【事務局】 今後施設ごとに説明会を実施するので、個人にということも含め、個別に考えていきたい。
2		使われていないものは壊すという発言に猶予はどれぐらいあるか。	【事務局】 使われていない施設というのは、合併前から全く使用されていない施設のこと。夜須幼稚園、大峰の里、福祉センター等はこれから（夜須防災コミュニティセンター整備検討委員会で）検討していくので、今後（その協議結果を、公共施設等マネジメント）検討会で図っていきたい。今すぐ決めるということではないし、特に期限を設けてということではない。
3		夜須の人が来ているのでみんな夜須のA B C D（評価）を知りたい。また、保育園や幼稚園、全部が香南市の持ち物なのか賃貸なのかを知らない。どういう可能性があるのかを考えるためにも、わかるようにしてほしい。	【事務局】 施設評価の一覧は作成済みだが、地区ごとの位置図は作成中のため、今後公表していきたい。 また、建物が市の所有物であるものを対象としており、土地は借地もある。施設カルテでは、借地と市有地を分けている。
4		（夜須）マリンホールがなくなるという噂が独り歩きしているが、検討というのは残すこともあるのか。残さないことが前提か。 検討会に出た人は分かるかもしれないが、市民にもう少しわかりやすく情報を積極的に開示してほしい。	【事務局】 マリンホールや夜須福祉センター等については、防災対策課が高台に防災コミュニティセンターを建てるにあたり、夜須防災コミュニティセンター整備検討委員会を立ち上げて協議中と聞いている。検討委員会の中で話していたらと思う。 (情報開示について) 夜須防災コミュニティセンター整備検討委員会は、夜須町まちづくり協議会の会長をはじめ、夜須福祉センター運営委員会（日赤奉仕団夜須分区長、夜須民生委員児童委員協議会代表、食生活改善推進員夜須支部長、夜須文化協会会長）、香南市公民館運営委員から夜須町2名、第6地区自主防災組織代表、夜須消防団夜須第1分団長、PTAの代表の12名で構成をしており、協議にあたっては、各団体の意見を聴取しながら進めている。 市民の皆さんに周知すべき内容については、今後の実施設計の進捗状況を踏まえて、適切な時期に情報提供をしていく。

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
5	夜須	方針の（総合評価の）表は、支所でも見ることができるようにしてほしい。	【事務局】 支所やホームページで見ることができるように対応していきたい。 → 地区ごとに施設を評価した一覧表と施設配置図が支所やホームページで閲覧できるように対応済。
6		手結山老人憩いの家が南海トラフ地震時の津波想定区域に立地しているのにA判定となっている。どうゆう内容なのか。	【事務局】 横軸は、施設が新しいか古いかの評価になる。（縦軸は）ランニングコストが低かったり、利用者が多いと評価が高くなる。（津波浸水想定区域にあるからといって、Dになるわけではない。）
7		（施設にかかる費用に）地域の維持費は入っているか。 また、利用頻度はどのように調べているか。	【事務局】 市が支出している費用だけで、地域が負担している費用は入っていない。 また、地域管理の施設の利用頻度はわからない。地域管理の集会所は市で把握できる範囲のみとなっている。
8		西山の集会所は利用頻度もわからないのに、なぜDか。	【事務局】 西山の集会所は1979年に建設されるものが対象で、施設カルテの情報からDとなっている。（施設評価は）利用状況等から判断している。 例えば、文化施設の中で森田正馬の生家はDの端にいるが、今後も維持をして博物館として使用する。Dのグループにいるから壊すわけでもないことをご理解いただきたい。
9		基本方針について、今後個別に行うことが中心になるのか。 期間や、ある程度のビジョンはあるのか。	【事務局】 現在、Dグループの施設や耐用年数が迫っている施設について今後の取組方針（案）を担当課が考えているところ。今後は、各地域に行って施設をどうするか、夜須であればコミュニティセンターの建設に伴い、周辺施設をどうするのか、個別の説明会、基本的には施設ごとの説明会を開くようにしていく。

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
10	野市	評価は非常に難しいところがあり、しかもこれは当然ながら行政サイドの話、行政のスタイルとしてはひとつ規制でしぼるといものがある。それと地域のために切り込んでいくというような前向きな部分をもった行政。この2つがバランスよくミックスされたものが自治体としては理想的な形と思っている。	【事務局】 今後の進め方としては、この方針をもって今週から各地区で説明している。現在、今後10年で耐用年数を超える建物等について、どうしていくのかを担当課に投げかけている。基本的にはDグループのもの、今後10年以内に法定、物理的耐用年数に達するものに関して各担当で今後の方針(案)を定めた後、その施設について各地域に入って担当課と支所、契約管財課が一緒になって今後の施設の在り方を個別に考えていく段取りで進めたい。
11		今後の課題として、香南市としてひとつ切り込んでいくものを見つけていただけたら。他の市町村からさすが香南市と言われるものをひとつ作ってもらえたらと思う。	【事務局】 施設数の多さとそれぞれ使われている状況も違う。切り込みというと、今後厳しい話もしていけないと思うが、コミュニティの維持も必要で、そういう相反するものがある中、丁寧に協議しながら、地域の負担になってはいけないが、全体の負担軽減が今回の目的なので調整できたらと思っている。
12		地域に集会所があり、地域コミュニティに活用できるようなレクリエーションとか集会に使っているが、この表にはない。光のあたらない部分でコミュニティ機能を十分果たしているところをもう少し評価していただき、補助金等の活用、補助金が入っているところは対象外という話もちらっと聞いたが、コミュニティ機能を十分果たしているところについてはある程度日をあててもらいたい。 また、人口の話があったが、年齢構成がどうなっているかというのは大きな評価点になると思う。ここはベッドダウン化しているので、その部分をにらんだうえで、にらんでいるとは思いますが、そのへんもこの評価に入れて欲しい。というのもこの辺りは小学生の数が圧倒的に多いということをおある教育関係者の方が言っておられたので。	【事務局】 野市では地域で建てた集会所を持っているので、一度建てたら建て直し等の費用が発生する。それは、地域支援課の補助金等の対象になってくると思うが、今後マネジメントで検討していく中で、一緒に補助金等の体系を考え直さないといけない部分が出てくるかもしれない。 また、グラフや資料についても詳細なもの、人口分布、年齢構成等も他からも言われているので、今後計画の中に積極的に載せて公表していこうと思っている。
13		二軸評価という言葉をお初めて聞いたが、マトリックス的な観点で言うと、さっきも見える化という観点で説明してもらおうとわかりやすいので、すでに煮詰められているとは思いますが、今後煮詰める分があればお願いしたい。	【事務局】 そのように進めていく。ありがとうございます。

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
14		公共施設の適正方針ということだが、根本的に目的は「人口が減って ます。財政が厳しいです。だからこれやります。」という風に受け取 ったが、そういう理解でよいか。	【担当課】 （現在保有する公共施設について、今後の更新費用を推計すると）40年間 で1,200億円、平均すると1年30億円になる。長寿命化によってコスト の抑制を図っても年間24.5億円が必要となれば、施設更新や修繕に対する 現在の歳出水準を大きく上回り、本市の財政規模では持ちこたえることが できないと考えている。 また、財政面だけでなく、人口推移を見ても、2060年には合併時の2割 程度になると予測される地域もあるなど、人口減少が進む中、20年先、 40年先の施設の在り方について、地域とともに考えていくこと、今やるべ きことに取り組むことが重要であると考えている。
15		率直にお答えいただきありがとうございます。要は、財政の問題につ いては国の交付金しだいという話かと思う。私自身は、こういうスク ラップビルド、ビルドはないかもしれないが非常に賛成である。あと はスピード感。もう既にABCで評価の基準が分かれ各施設がプロッ トされているのだから、特に問題になるDはすぐに動き始めるべきだ と思う。優先順位をつけて、すぐにでも始めていただきたらと思う。	【事務局】 まず、Dグループと今後10年以内に耐用年数を迎えるものをターゲットと して順次取り組みたいと考えている。
16	野市	一般家庭もそうだが、負担になるものは除けていく、早く壊していく というのは一緒だと思う。使われてない物は、新しい物でも壊してい くというのがいいんじゃないかと思う。乱暴な言い方かもしれないが、 財政的に考えるとそれしかないと思う。 また、近々起ころうとしている南海トラフ大地震、この津波災害にお いて、津波浸水地域、香南市が示されている浸水地域の標高としては 10mだと思うが、これは県の資料に基づいてハザードマップを作ら れていると思う。要は、公共施設を10mと仮定すると、その施設が 被災した後はどうなるのか。	【事務局】 10mという想定で話しているが、市の津波の認識として、L1の高い方 で来るのか、L2の低い方で来るのか正直わからないという状況で計画は進め ざるを得ないところである。例えば、低い場合は、津波の衝撃なのか、単純 に浸水したのか、といったことも考慮する必要があると思う。単純に浸か った部分であれば使えることもあるだろうし、東北地方のように全く町がな くなるという状況であれば、維持管理という話ではなくて、そこには住めない ということもあるかと思う。
17		被災して全く使えない公共施設について、その維持費はどれぐらいに なるのか。税的な話。	【事務局】 想定していない。
18		現在使われている主要施設は当然残さないといけないだろうが、現に 使われていない施設については、いち早くゼロにした方がよいのでは ないかと。この問題は、合併時から取り組むべきであると、議員にも 言ってきた。	【事務局】 本当に手遅れになる前に今から取り組んでいきたい。

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
19	野市	合併してからも箱物を建てている。大変危惧している。	<p>【担当課】</p> <p>合併後も新しい施設を建てているが、多くは、津波避難タワーや防災コミュニティセンターなどの施設であり、必要なもの。一方で、既存施設の整理については進まなかったのも事実。なぜ、合併しなければいけなかったのかを考えれば、施設の在り方について合併当初から取り組むべきであったと考えている。</p>
20	吉川	<p>吉川小学校の学校運営協議会として、今回の方針において吉川町で現状維持の施設があまりないように見受けられる。吉川小学校についても、（評価グループの）端のグループに分類されている。学校教育施設については、学校等規模適正化基本方針に基づく対応となっているが、学校等規模適正化方針では、吉川小学校は津波浸水区域以外の学校と再編という方針が出されている。この方針に基づくと、公共施設適正配置の考えも再編が答えとなってくるのではないかと考えている。吉川小学校は、老朽化が進んでいる一方、特認校として校区以外からの通学が可能になっているなど、生徒数の減少に歯止めをかけようとして取り組んでいる。規模適正化という部分で考える時は来るとは思うが、吉川町は小さいコミュニティがあるからこそ、子どもをまんнанかにして保護者同士や地域、近所の方のコミュニティがある。吉川町には避難所機能をもったコミュニティ施設はここしかないの、財政的な課題のクリアはあるかと思うが、避難所として活用できる方法はないかといったことも考えながら、公共施設等の適正配置を考える中では、吉川町の施設については、寿命化と全体の建て替えという方向で考えていただくことを希望する。</p>	<p>【事務局】</p> <p>学校等規模適正化については、この方針の中に記載のとおり、学校等規模適正化で定められる内容が反映されるように考えている。先ほどのご意見、ご要望は教育委員会に伝えさせていただく。</p> <p>地域としては小規模校であるがゆえのコミュニティがある。だから、吉川小学校等については長寿命化または建て替えを希望しますというところかと思う。その点については、学校等規模等の適正化の目的を踏まえうえて、コミュニティやまちづくりにつながっているということも整合性を取りながら反映できるようにしていきたいと思っている。</p>
21		説明について、児童公園や緑地公園を子どもの居場所、地域によっては駐車場として活用したいというところもあるので、児童公園、緑地公園についてはどう考えているのか。	<p>【事務局】</p> <p>今回は、まず公共建築物から取り組んでいる。この中にも公園という分類はあるが、これは公園自体ではなくトイレや器具庫のことを指している。今後、公園やグラウンド等の土地についても長寿命化等を含めた適正配置というものを考えていなければならないことは重々承知しているので、まずは建築物からということをご理解いただきたい。</p>

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
22	吉川	学校に関連して、赤岡中PTAから一つだけ。学校の設備に関連して、学校教育施設010番その他教育施設学校、給食センターの話です。赤岡吉川給食センター、先ほどの質問と同じように香南市学校等規模適正化基本方針に基づいた対応としますとなっている。ところが、これはもう議論の余地なく、昨年夏ぐらいに給食センター廃止しますの決定通知が来ている。1学期末で。ずっとおかしいので、議論し直してくださいと言っているが、どの施設も同じような対応になっているので、今回の1学期末での終了は一旦見送って、規模適正化の方針ができるまで継続するという事でよいか。	【事務局】 赤岡の給食センターは、廃止の方向で話が進んでいるかと思う。
23		給食センターは、学校等規模適正化方針か、公共施設等の適正配置に関する方針、どっちに合わせるのか。	【事務局】 学校については規模適正化で進んでいくということだと思います。 その他教育施設の中でこうなん給食センター、赤岡吉川給食センター、教育センター森田村塾、旧岸本小学校というように、現在既に使われていない、一部使われているものもあるが、既に用途廃止になっているものも一緒に基本的な考え方となっている。本来は、それぞれ方針が違うのではないかと。例えば、赤岡吉川給食センターは、経緯があったと思うが、副市長から申し上げたように一定廃止の方向が決まっていると聞いている。それは、赤岡吉川給食センターの機能がこうなん給食センターで出来るということだと考えている。本来であれば学校等規模適正化方針に基づいた施設と、そうでない施設の書きぶりが必要であった。いただいたご意見は、方針の正誤も含めて教育委員会と確認する。 →修正した「香南市公共施設等の適正配置に関する方針（令和6年3月）」をホームページに掲載済。
24		まちづくり協議会へこの説明をしてくれる機会はあるか。今日は香南市としての部分で聞いたが、まちづくり協議会（まちづくり運営委員会）に来る時は、エリアごとに具体的にどういう考えなのかということの説明してもらえれば腑に落ちる、落ちないが出てくると思う。	【事務局】 まちづくり協議会に呼んでいただく機会があれば説明にお伺いする。今、会場の前に施設を配置した地図を貼っている。施設ごとの考え方については、施設評価の一覧表があるので、支所に備え付けて置いておく。 → 地区ごとに施設を評価した一覧表と施設配置図が支所やホームページで閲覧できるように対応済。

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
25	吉川	延べ床面積1.4倍とか1.2倍を平均にする方向でやるのか。	<p>【事務局】</p> <p>確実に人口が減ることがわかっている。財政状況も落ちていく、小規模自治体が頼りにする地方交付税も確約できるものではない。それを踏まえ、3万人台、もしくは26,000人台にあった施設規模にしたい。財政規模にあった施設規模にしていかないと、今取り組んでいっても、平均値に近づけるのにおそらく10年20年かかると思う。平均値に近づけるといっても、身の丈に合うようにしていきたいというのが一番の目標になると思う。未来に先送りしないように、やっておけばよかったということが極力ないように今から取り組んでいこうということ。</p>
26		<p>行政として数値目標値の設定が必要なのはわかるが、よそとは規模やまちの取り組みが違う。そのうえでも、スポーツ等に特化してグラウンドをつくり、収益を上げてまちを活性化したいというような行政の方針があれば、面積は大きくなるのではないかと。施策とリンクさせないといけないので、そういうこともあることも皆さんに発信して行政が捉えておかないといけない。地方では、民間ができないので、行政サービスとして都会との生活格差を埋めるためにより多くの公共施設が必要なんです。例をあげると、大図書館の建設時代がこの30年あり、高知もやっとなってきた。神戸の大図書館ができたときに図書館協会の方が、神戸にはこんな大図書館いらぬ。この規模の図書館は地方にこそ必要と言った。そのとおりだと思う。そこも含めて精査していただければというのが要望。</p>	<p>【事務局】</p> <p>香南市は、5町村それぞれに特色があり、それぞれに施設があったから維持できているという見方もあるかと思う。今後、政策的な中でどれを残すかということも含めて話をするのがこのような場。そのために、施設ごとに今後地域へ入っていく取り組みを始めたところ。政策的に、今後香南市が公共施設を強くしていきます、スポーツを強くしていきますという話があれば、もちろんお金との整合性、人口、利用者、津波のこともある。そういったいろいろなことを一緒に話しながら、ご意見いただきながらやりたいと思っている。その際にはご意見をいただきたい。</p>
27		<p>合併に際し、短い間しか準備がなかったが合併協議会のなかでも施設のことについてはかなり緻密に話した部分があると思う。その当時の資料って残っていないのか。当時どういう話し合いがなされたかを掘り起こしていただきたい。当時、話し合いをしたが、時代が変わりこうなった、こうなったからこそこういう結論が出たという経緯も資料としてもらいたいが、できるか。</p>	<p>【事務局】</p> <p>合併協議会の資料について、残っているかも含めて確認する。</p> <p>※合併協議会において、旧町村担当等で施設についての協議はなかったため、記録資料もないことを当時の合併協議会の所属職員に確認済。</p>
28		<p>今現在で、確実に廃止が決まっている建物はありますか。</p>	<p>【事務局】</p> <p>まず、香我美町の旧岸本保育所。壊す調査を検討しながらそのままになっている。次に、野市町の東部老人憩の家がある。東部老人憩の家については、東部防災コミュニティセンターが建ち、機能移転も含めて地域と協議が整い取り壊しが決まっている。</p>

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
29	吉川	興味があるのは自分たちの地区であるが、行政側はみんな一緒にやっているんだよという感を出したいと思う。それはこの世代は、自分たちの地区が大事。学校の統廃合のときも教育長と話したが、実は子どもたちはそんなこと思っていない。自分たちは香南市の子なので、われわれが思っている以上に学校の垣根はない。でも、集まっている人たちは、自分が生まれ育ったのはこの地区だから、そこが一番大事。そのジェネレーションの部分で、世代に対して何が必要な情報なのかということを見誤らないようにしないと。少し時期尚早。一緒にやろうという理念があり、発信しながら地元が大事だよ、という世代への発信の仕方。世代が変わり、学校へ説明へ行く時は若いお父さん、お母さんだからみんな一緒にやっているんですよ感を出す。そういうバランスを上手にとっていかないと、と思った。	【事務局】 おっしゃるとおり世代によって考え方が違う。市としては、総合管理計画というのがあり、令和18年に第2期の期間が満了する。今回の適正配置計画の策定にあたっては、総合管理計画の期間に合わせて令和7年から18年が第1期となる。その中で、できることをやっという、すぐ取り掛かれるもの、耐用年数が計画の10年くらいの間に迎えるものに対してどうするかということから進めていく。地域と協議していく話を始めたところで、非常に長い計画となり、先送りはできない話となるということをご認識いただきたい。
30		施設マネジメントは、なくす、統合することばかり。それをしたら何をしてくれるのかということをお願いいただいたら済むと思う。実現するしないは別。そういう風な施設マネジメントをすれば世代間が埋まるのではないかと思う。やはり、取っつかれるような気分になる。思い出も含めて。	【事務局】 何を優先して考えていくかということも大事なので、ご意見は参考にしながら進めていきたいと思う。
31		昨日の吉川会場で公共施設等の方針では、赤岡吉川給食センターの考え方は学校等規模適正化に基づいて対応するとなっていたため指摘をしたことについて、事務局からは訂正する方向で検討する旨の報告を受けた。しかし、保護者には相談もなく、地域の人も知らないままなくなっているものだろうかと考えている。教育委員会にも話はしているが、この場で知った人もいだろうか、意見を聞いてもらえないか。	【事務局】 教育委員会の個別の施設について、皆さんに対して今までで十分説明できているか、教育委員会がどういう説明をしているかということも踏まえて、ここでその施設の方向性の確認をすることは難しい。
32	赤岡	建設当時の赤岡の給食センターは、省エネ等も含めて四国で初めてのオール電化で素晴らしい給食センターだった。当初、廃止という意味がわからなかった。今日、使えなかったら壊すが、利用する場合には他の活用もありえるといった説明があった。考えてみれば、(赤岡の給食センターは)赤岡では使えないという話は聞いていたが、例えば、お弁当屋やおかず屋に貸すとか、売却するとか再利用するといった方法があると思う。壊すということであれば、私はやはり反対だが、それは意見を聴き合って決めていくべきだと、そのように解釈した。	【事務局】 (赤岡吉川給食センターの)建物自体はCランクでまだ使えるものと認識している。今後、利活用していただけたらいいところがあれば、検討の一つになると思う。なお、例えば民間企業に使っていただく場合は、敷地内に関係者以外が立ち入ることになることから、それなりの対策維持管理をしていただくことや、給食の受入口も作っていると聞いているので、整合性がとれるのか等を今後考えていかなければならないと思う。使えるものであれば使っていく、単純に機能を廃止したから解体という話ではないと思っている。

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
33		<p>赤岡の給食センターの調理業務は、老朽化、いろいろな不具合等を含めて作ることが不可能になってくるということで、当時赤岡小学校のPTA会長を務めていた自分に、退任された教育長たちから相談があった。平成15年8月から赤岡の給食センターは稼働しているが、ゆくゆくはこうなん給食センターにくっつける話で、こうなんのほうが約3500食規模の施設規模で業務を行っている。思わく赤岡の給食センターの老朽化が早く、統合も止む無しかないというのもあり、当時は夏休み期間の短縮等の話もあって、赤岡小中学校、吉川小中学校のPTAに教育長を含めて教育委員会で説明に行っている。住民への説明は多分なかったと思うが。そういった流れがあるので、知っておいてもらいたい。</p>	
34		<p>この方針の中に、赤岡の給食センター、既がない岸本小学校の名前があるのもおかしいと思う。避難タワーに変わっている。情報がみんなにきれいに届いていないから不安に思うところもある。</p>	<p>【事務局】 このデータは、令和4年度、令和5年3月末のデータになっている。岸本小学校は、廃校という手続きをとり機能は廃止しているが、建物自体は残っている。残っている以上、維持管理費は発生しているため、記載し続ける必要があるということをご理解をいただけたらと思う。</p>
35	赤岡	<p>例えば、何かを廃止する場合、管財係が説明に来ることはないですよね。例えば、この評価の中で壊さないといけない集会所があった場合、こういう会でまた説明するのか。</p>	<p>【事務局】 今後の進め方として、現在、この評価を踏まえ、耐用年数が今後10年に迫っているものをピックアップし、各課で建て直すのか、長寿命化するのか方針（案）を検討している。各課で検討後、各課がまず関係者、地域に出向いて今後どうするかという話し合いの場を設ける予定である。今後10年で耐用年数を迎えるものは100施設を超えている。一気には無理なので、急ぐものから順に担当課がこういう場を設けて皆さんと協議する進め方をしていきたい。この方針では、そういう理念になっている。</p>
36		<p>施設マネジメントについては、施設一つひとつについて説明を尽くして話し合いの場を持っていけるのかなとわかった。給食センターは、そのプロセスを踏まれていないですよね、これが始まる前だったからかもしれないが、管財としては、教育委員会へそういうプロセスをとれるかどうかを相談してもらったらどうですかという話か。中学校の方からは、丁寧に協議して決める場を設けてもらえないか、私がリクエストしてくる。</p>	<p>【事務局】 今日、教育委員会と話はしているが、また持ち帰って話をしておく。個人の方だけに負担がかからないよう、皆さんで進めていかないとはいけないと思っている。 → 赤岡吉川給食センターの件については、翌日、教育委員会に報告済。</p>

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
37	赤岡	赤岡の弁天座、運動広場についても耐用年数が近づいているが、全体と同じように考えているのか。毎日のように両方とも利用しているが、廃止も場合によってはあり得るのか。	<p>【事務局】 現在使われている状況にあるのであれば、CDのグループに分類されたからといって廃止というわけではない。 今後、対象になった時に廃止するかという話が出るのかもしれないが、将来的には必ずこの話が出てくるので、その時に利用があれば、また造る必要があると思うし、その時の利用形態に合わせたものになろうかと思う。 CDにあるから即廃止というわけではなく、地域に入って皆さんと協議することとなる。</p>
38		今、利用価値がある施設でプラスα何か考えているとか、古いからこのままでとかあると思うが、津波浸水エリアであればもう何もつからないという話はあるのか。これからも話し合いをもって考えていくということではいか。	<p>【事務局】 ご質問は、沿岸地域での説明においてもよく話になる。 例えば拠点施設やその地がないとダメなものというのが各地域に必ずあると思う。この市民館には隣保館機能がある。吉川で言うと、防災コミュニティセンターにも隣保館機能がある。赤岡の絵金蔵や弁天座も、その地にあるからこそ継続できる文化継承のものだと思っている。赤岡の皆さんが積極的に活動をやっている中で、津波浸水エリアにあるからといって古くなったから廃止という話ではないと思っている。 市からのお願いとして、市民の皆さんには精一杯使っていただきたい。使っているから壊さないという使い方をしていただけましたら、壊すということにはならず長寿命化して使うようになってくると思っている。</p>
39		施設を使ってくださいと言われたが、施設を使うのに許可がいる。許可を取るのに赤岡支所で簡単に許可が取れないか。赤岡のグラウンドを使いたい時は、野市に行かないといけない。使ってくださいと言われてもよう使わない。赤岡支所長も管理職なので赤岡の施設全てを支所長の判断で使えるようにしてもらいたい。そうすることで、利用価値がもっと上がる。	<p>【担当課】 現在、赤岡支所で受け付けているものは集会所と保健センターになる。スポーツ施設については、野市総合体育館へ行かないといけないようになっている。以前は赤岡支所でも受け付けをしていたこともあるので、担当課の生涯学習課と協議し、できる限りのことはしたい。</p> <p>【事務局】 できるだけ申し込みしやすい、利用しやすい工夫を今後していきたい。</p>
40		利便性を上げると言う点について、香南市に図書館が2つある。赤岡にはないので、自分が車に乗らなくなった生活を考えると香我美町に借りに行くのは至難の業。バスを調べたがその日のうちに行けない。香我美町図書館の本を赤岡の市民館で貸し借りできるよう、ぜひお願いしたい。	<p>【担当課】 毎日ではないが、定期的に赤レンガ商家へ新刊の本を置くようにしている。そちらで借りることもできるので、利用していただきたい。市民館での貸し出しはできないが、市民館での返却はできるように、赤岡市民館（赤岡支所）とも協議をしていく。</p>

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
41	赤岡	説明があったが具体的に次の当面3か月後、半年後、年末などの目途はどうか。	<p>【事務局】 明確なスケジュールを出すことができず、申し訳ない。現状としては、Dグループと直近10年以内に耐用年数を迎える施設について、各担当課へ考え方の調査をしている。その回答が5月初旬、それを受けて5月15日の検討会の中でその方針内容を確認し、早急に手をつけないといけないものを洗い出す。そのピックアップした施設ごとに担当課と一緒にこのような会を持たせていただきたい。その会が半年後ということはないかと思うが、後1カ月2カ月ぐらいで開催できる施設があるかどうかというところ。 今年の12月頃までの間に対象施設については地元の皆さんと話をする機会を設けたい。この会がスタート、第1歩となる。施設ごとに年々老朽化が進むので、その都度このような話の場を設ける必要があると思っている。大変息の長い取組になるので、その都度皆さんにご協力いただくことがあると思っている。 ぜひ、皆さんも地域の中で「こういう話も今ありゆうで」というような話題で話をさせていただき、広がっていくことを期待している。説明には手を尽くすが、今後ともご協力をお願いしたい。</p>
42		公共施設、若干視点が違う部分として、各町村の排水機場44ページについて施設をどうするこうするの前に、「基本的な考え方、継続を目指します」と書いているが、「必ず継続します」と表明してほしい。要望である。排水機場がなければ異常気象の時は、ほとんどの家屋、必ず浸水が出てくる。その時のために施設をつくっているのだから、処分するのは絶対不可能だと思う。	<p>【事務局】 44ページ、排水機場についてはおっしゃるようにインフラ系施設に直結するものだと思う。「継続する」というのに変える方向で検討する。 →修正した「香南市公共施設等の適正配置に関する方針（令和6年3月）」をホームページに掲載済。</p>
43		各地区の担当課が（A～D）4グループの内容を随時計画的に説明していくことについて、4つのランクのうちどのランクを中心にやるのか。また、集会所であれば地区単位で自治会があるのでそういうレベルで確定できるが、例えばグラウンドとかいう場合に、今は利用者団体や会長だけではすまないと思う。その対象者をどれだけ可能な限り、今後も利用する方たちも踏まえて担当課で整理しなければいけないと思う。	<p>【事務局】 対象の施設について、まず、Dグループは抜本的に見直しが必要な施設なので対象となる。また、耐用年数を直近10年で迎えるものを対象としている。</p>

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
44	赤岡	<p>(今後、地域での) 担当課の説明の仕方や、聴き取る時の論点をしっかりと押さえておかないといけない。施設の目的に違いがあっても、市民の方が理解できるような説明と集約の仕方にぜひ努めてほしい。説明のありかた、集約のやり方、対象をどうしていくか、ということについて、手を尽くしたということの説明ができるよう、ぜひ会場の多くの人の意見、意思、そういう声をしっかりとおさえていただくように、副市長、契約管財課長、各課にまたがるのでしっかりと注意をお願いしたい。</p>	<p>【事務局】 丁寧の説明していきたいと思う。説明の仕方も、基本部分は徹底しながら市民の方にわかりやすく説明していきたい。</p>
45		<p>体育施設の申し込み、DXや電子申請、FAX等、いろいろやり方がある。しかし、常に世の中に必ずサービスの機会が損なわれる方がいる。結果的に、支所でできていたサービスを損なうことで、(その方たちに) 本当にDXのサービスの向上の機会が与えられるのか。件数が少なくても、やはりそういう機会を最大限少数派の方にも知っておいてもらいたいと思う。いつかはそういう利用ができなくなるいう人が多くいる。結局、サービスを受けられないということになるので、その点留意してほしいと思う。</p>	<p>【事務局】 申し込みの仕方をDX化したら簡単にはなるが、それでどうしても救えないというか、取りこぼれる方もいるので、それは支所に来たら申し込める等、いろいろ担当課も含めて考えたい。</p>
46		<p>地区の集会所は自治会活動の拠点である。市は自治会 市民の役割、市民の持ちえる活動、市が考慮するところ、協働等がある。現在、老朽化もあるが、使えてなくてもやはりこの施設が近くになれば今後の活動の活性化につながる可能性が絶たれるという声も聞く。しっかりと自治会の活動の実態を、声を率直に受け止めて自治会の理解と協力を得るようにしてほしい。今までではなく、これから使いたい、活動を続けたいという状況の自治会もあると思う。そういった声をしっかりと丁寧に押さえ、行政内部でどうしていくのも踏まえてボールを返してあげるようにぜひ留意してほしい。</p>	<p>【事務局】 自治活動で地域の拠点となる集会所等については、担当課はもちろんだが、支所が中心になってくると考えている。今回の住民説明会も各支所、支所長の協力を得て開いている。地域活動については、支所とも連携しながら把握に努めて、集会所の維持や今後の見通し等も踏まえて地域と話し合いをしていきたいと考えている。</p>
47	香我美	<p>施設カルテは閲覧できるようになっているか、できるならどんな形でできるか。</p>	<p>【事務局】 施設カルテは現在精査中で、今年度中の公表を目指している。データ量が膨大なので、ホームページでの公表、各支所に冊子として備えることなどを検討している。</p>

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
48		<p>対外的にまちづくりとしてどういうまちを作っていくのか。将来的に何を売りにしていくのか。まちの個性というのがこれから大事になると思うが、例えば文化的なことを進めるまちとかそういう方向性を出すとその施設のあり方というのも変わってくると思う。そういった部分の今後の施設のあり方はどのように考えているのか。</p>	<p>【事務局】 地域に根差した文化的施設は基本的に維持していく考えだが、今ある施設に新たな文化的価値、歴史的な価値等の発展に努める、付加していくところまでは決まっていない。ただ、今後各課でそういった発想も出てくるかと思うので、まちづくりも含めて話を進めていきたい。</p> <p>基本的な公共施設等マネジメントの取り組みとしては、今ある施設をどうしていくかということがメインになってくるが、今ある施設を軸にしながらも、まちづくりを意識しながら進めていけたらと思う。そこは市役所が主導するというよりは、地域の皆さんのどのようにしていきたいという声を聞きながら進めていきたい。</p>
49		<p>徳王子にも公民館や集会所がたくさんあるが、西山公民館やお宮の方の公民館の名前が（評価一覧に）入っていないのは管理が市ではないのか。</p>	<p>【事務局】 地元の方々で建てられた施設は対象外となる。</p>
50		<p>地域の要望があれば施設の 신설はするのか。作らないという前提で進むのか。野市にも新しく防災コミュニティセンターが建ったが、建てないわけにはいかないのでは。</p>	<p>【事務局】 小さい集会所古い集会所を集約化して大きく建てたり、文化的な要素も入って違う複合的な施設を建てたりということもあり得るが、単純に新しく大きくなるということはないと考えている。</p> <p>他の会場で、地元の公民館は自分たちで建てているので評価してほしいという話があったが、今後耐用年数を迎えると、地域で壊して地域でまた建ててというのはやはり負担がかかるというのは市も認識している。それが不必要な施設とは思っていないのでそれも含めて市で検討しないといけないと思っている。</p> <p>地域のコミュニティを守っていく中で、古いけど今後も必要ということであれば、新設にはならないがその時の状況に応じた施設にという形になるかと思う。一緒に話しをさせていただきながら進めさせていただきたい。</p>

No.	会場	参加者からの質問	事務局、担当課等からの回答
51		<p>香我美町は旧町村の中で一番広い。人口で見るとはいたしかたないと思うが、土地係数を掛けるとかもあればいいのと思う。</p>	<p>【事務局】 香我美町は広いので、夜須町も含め羽尾、国光、東川等を中心街と一緒にして考えるのは乱暴かと思う。やはり、このエリアでどれぐらいの人口なのか等、もう少し細かいエリアごとに考えていく必要があると思う。</p>
52	香我美	<p>香南市にこんなにたくさんの施設があるとは知らなかった。これを市民の皆さんが知る手立てはないか。これだけの施設を管理しているのだということを知るとまた印象も違うのではないかなと思う。</p> <p>市の職員にこの施設はどこにあるのか聞いても知りませんでしたと言われた。悪い意味で言っているのではなく、市民の人は本当に香南市の施設がどれだけあるか知らないと思う。</p>	<p>【事務局】 この説明会を進めていく中で皆さんからご意見をいただき、その都度地図やランク別の一覧を作った。資料の見える化というものも勉強させていただいている。手立てとして、広報が有効であると考えているが、膨大な量なので、デジタルを活用しながらのホームページへの掲載や、各支所等に置くことを考えている。ホームページには来週から地図も含めて掲載する予定である。どのように広げていくかは市で考えなければならないが、町の井戸端会議で話していただくのも、広報やケーブルテレビを見られない方にとって非常に効果的な周知の方法なので、話をしてもらえたら非常にありがたい。</p> <p>施設を持っているだけで毎年電気代水道代等の維持管理だけでも12億円かかっている。（※12億円は、R4年度の年間支出額で、光熱水費・手数料・委託費・使用料・賃借料・修繕費・工事請負費の合計額。） 昨日の新聞でも消滅の自治体の記事が出ており、香南市は高知県の中では一番下であったが、安心するものではなくて、今こういった取組を始めたところ。時間はかかるが、他の取組も含めて進めていきたい。</p> <p>たくさん香南市の中に施設がある中で、当時のニーズでできたものが今現在ニーズとしてあるのか、コスト等今の現状、未来を見ながら、地域の皆さんと本当に必要なのか、どのようにしていくのか、議論しながら進めていきたい。</p>

4. 意見概要

No.	会場	参加者からの意見
1	夜須	建物を売却する考えがあるなら、建物が新しいうちに売却をしてもらいたい。
2		施設の評価については、地区（旧町村）ごとに作成して見せてほしい。
3	野市	箱物に関しては、たぶんどこの自治体も非常に悩ましくて、大変な出費になっているところが多いと思う。香南市は一定の見える化の水準を作ってください、一市民としてお礼を言いたいと思う。
4	吉川	<p>【A】 P T Aへの質問 今の P T Aとして小学校は存続してもらいたいという意見を出しているが、 P T Aではどのぐらいまで児童数が減ったらとか、そういう捉え方はしていないのか。吉川町民の子どもが一人でもいる限り残したいのか。</p> <p>【B】 吉川小学校の学校運営協議会から回答 会の中では、そのへんまでは議論できていない。個人的な思いとしては子ども一人になっても残したい。</p> <p>【A】 息子がいるが、結婚して家を建てると言えば命を守るために安全な津波の来ない所と考えるかなど。今後、自分の孫が小学校へ通うってなったときにどうするのかなどと考えると、そういう議論はあるのかなどと思って聞いてみた。やはり P T Aだけでなく、これから行く人の話だと思う。</p>
5	赤岡	（赤岡吉川給食センターについて）突然、もう方針が決まっていますではなく、まず、今日のこのような会が先にあり、順番に説明していくのが筋ではないか。それぞれの部署が話し合っ、私たちに話し合いの数をこなして行ってもらいたい。次こういう方向でやると聞いて、いつやるのかと思いつつ半年後にはもうこうやって決めましたと言われる。そうなると住民はとても弱いもので、決めたとされたら仕方ないと思うところだが、高齢になってくると地域のことを考えて抗いたくもなる。気持ちだけでは前へ進まないことは分かっているが、行政はしっかり住民に説明をして事を進めて行ってもらいたいと思う。
6		施設マネジメントの話で費用面の話になると他の部署と連携してやらないといけないと思う。ある事案について支所長に伝えると、すぐ各課と連携をとって会を開くように前向きに検討することを言っていた。そういうことも含めて、一つひとつ丁寧に重ねてやっていくということで、この施設についてはなくなるとか、やるとなったときにはまたこういう説明会を開いてくれるんだろうなという安心感ができた。今後もみんなの前に出てきて話をさせていただく機会が増えるのは大変かもわからないがよろしくお願ひしたい。